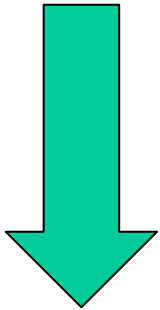


平成18年度 標準化経済性研究会の活動

関西学院大学経済学部教授
標準化経済性研究会 主査
土井 教之

標準化経済性研究会

- 戦略的な標準化活動の重要性の高まり。
- 「標準化は企業の事業戦略における重要なツールである」

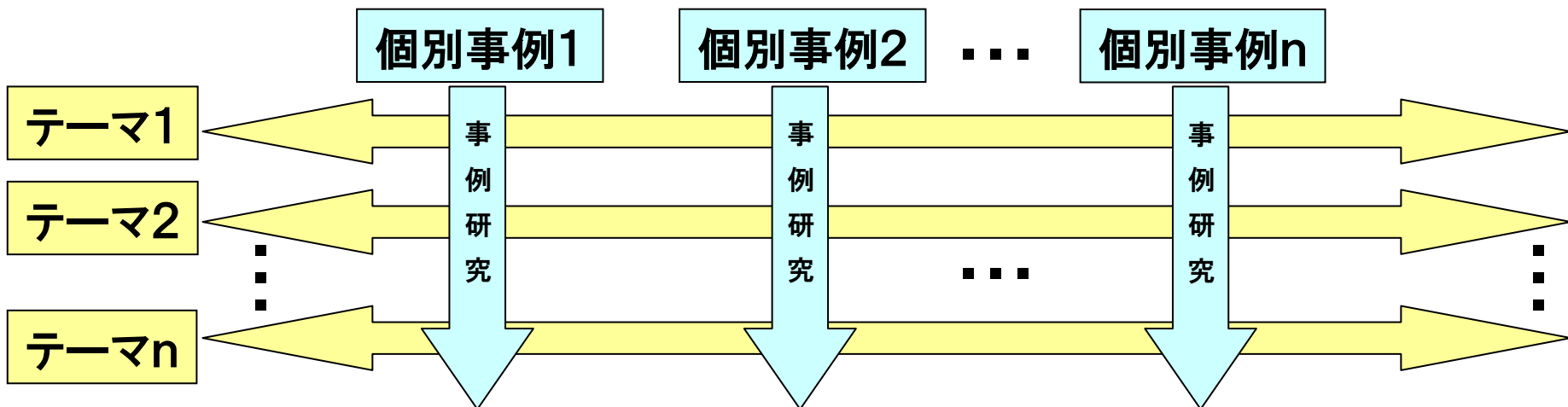


- ✓ 事業戦略における標準化の重要性に関する認識の共有がまだ不十分。
- ✓ 企業にとっての標準の価値を明らかにする必要性。
- ✓ 研究成果の蓄積と情報発信の必要性。

- 平成15年9月より活動開始(経済産業省が支援)
- 産業組織論・環境経済学・競争戦略論等の研究者、有識者、企業人(戦略的な標準化活動実践者)で構成。
- 経済・経営学の視点で検討。
- 平成16年度後半より、企業インタビューを通じて「事業戦略と標準化に関する事例研究を実施。
- 平成16年度 … 3事例、平成17年度 … 6事例

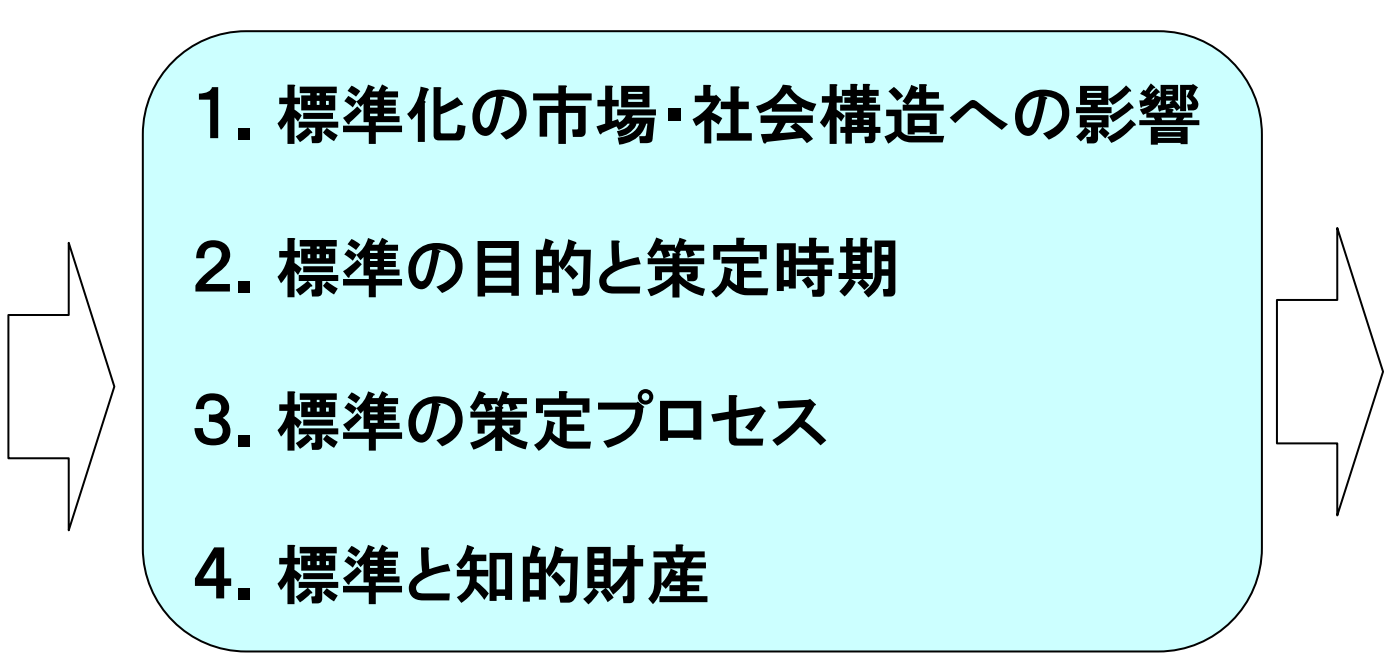
平成17年度までの研究結果より ・・・横断的なテーマの必要性・・・

- 企業にとって標準化は利益を得る機会を増加させるが、必ずしもそれだけで個別企業の競争優位や利益確保を確約するわけではない。
- 企業が標準化を最終的に利益へ結びつけるには、標準が市場構造へ与える影響等を踏まえ、各々の状況に合わせた利益確保のための戦略と組み合わせることがポイントになっている。
- 標準化を活用して企業が成功するパターンや要因をより明確に浮かび上がらせるため、標準化と事業戦略に係るテーマやトピックスをいくつか設定し、その理解を深めるため、横断的なテーマを重視した事例研究が必要。



横断的なテーマについて ・・・4つの視点・・・

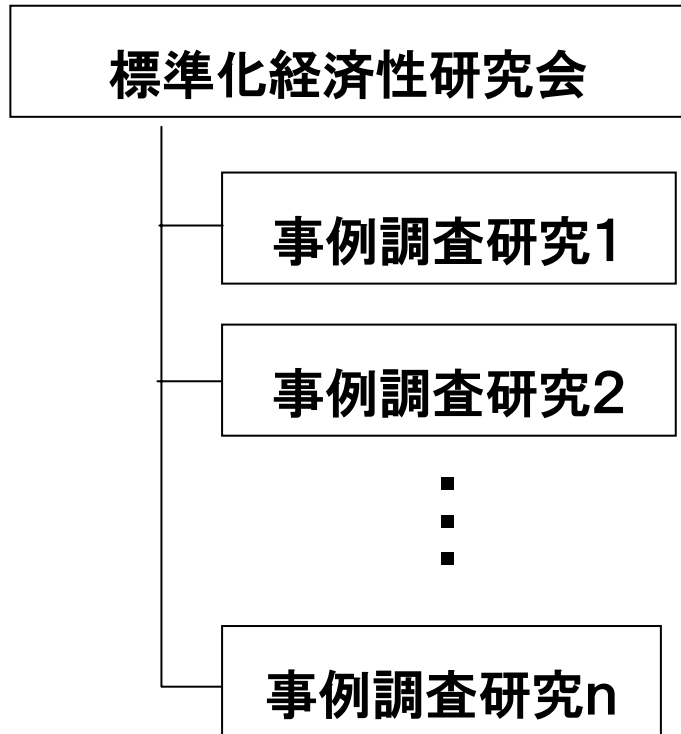
標準化活動

- 
1. 標準化の市場・社会構造への影響
 2. 標準の目的と策定時期
 3. 標準の策定プロセス
 4. 標準と知的財産

利益を得るための
事業戦略構築

◎事業戦略を構築するうえで見るとべきポイント、切り口である。

平成18年度 標準化経済性研究会検討体制



個別事例調査＋横断的テーマを意識した分析

◎事例研究体制

- 事例別に研究者のグループを構成
- グループ毎に活動費を準備

◎インタビュー実施手法

- 対象事業を手がけている企業の事業責任者等にインタビュー
- 研究者自らインタビュー議事録を作成、企業側の確認後、発表等に活用

◎発表機会

- シンポジウム、学会発表

平成18年度事例研究

事例研究	担当研究者
・電子部品の標準化・事業戦略 ・産業用ロボットの標準化	小川紘一(東大) 新宅純二郎(東大) 善本哲夫(同志社大／東大)
・半導体産業における標準化戦略 ・LCD(液晶ディスプレイ)産業における標準化戦略	富田純一(東洋大／東大) 善本哲夫(同志社大／東大)
・鉄鋼産業における標準化戦略	岡本博公(同志社大学) 富田純一(東洋大／東大) 善本哲夫(同志社大／東大)
・RFID／バイオメトリクスにおける標準化戦略	梶浦雅己(愛知学院大) 内田康郎(富山大)
・自動車車内ネットワークにおける標準化戦略 ・自動車車外ネットワークにおける標準化戦略 ・自動車産業における知的財産戦略と標準化	土井教之(関西学院大) 長谷川信次(早稲田大) 徳田昭雄(立命館大)
・PC汎用インタフェース(USB、IEEE1394)をめぐる標準化競争	武石彰(一橋大) 高梨千賀子(一橋大院生)

平成18年度事例研究

事例研究	担当研究者
・冷媒における標準化戦略	梶山泰生(京大)
・排出権の認証・検証手続き(クリーン開発メカニズム;CDM)における標準の役割	大沼あゆみ(慶應大) 松波淳也(法政大) 山本雅資(慶應大院生)
・自転車産業における標準化と産業競争力 ・光コネクタにおける標準化と産業競争力	江藤学(経済産業研)

平成18年度事例とテーマ

- ✓本年度、各事例については、調査研究開始時に以下のようなテーマとの係わり合いを仮説設定して、調査研究を開始した。
- ✓第3回事業戦略と標準化シンポジウムでは、平成18年度事例を分析した結果、見えてきた成果をピックアップして、その他これまで扱ってきた事例も織り交ぜ照らし合わせながらご紹介します。

H18年度事例	仮説設定 テーマ	標準化と市場・ 社会構造への 影響	標準の目的と 策定時期	標準の形成 プロセス	標準化と知的財産
電子部品		○			○
産業用ロボット		○	○		
半導体産業		○	○		
LCD産業		○	○		
鉄鋼産業		○	○	○	
RFID／バイオメトリクス		○	○	○	
自動車車内ネットワーク		○	○	○	
自動車車外ネットワーク		○	○	○	
自動車産業				○	○
PC汎用インタフェース		○		○	
冷媒				○	○
排出権取引市場		○	○	○	
自転車		○	○	○	
光コネクタ		○		○	

見えてきた企業が利益を得る
パターンとは？

対外発表活動

●研究・技術計画学会での発表（標準化セッション）

平成16年度～平成18年度（計3回）

●事業戦略と標準化シンポジウム

第1回 平成17年3月23日

第2回 平成18年3月 1日

第3回 平成19年3月 1日（本日）

●出版（経済産業省標準化経済性研究会編）

「国際競争とグローバル・スタンダード」

―事例にみる標準化ビジネスモデルとは―

平成16年度成果及び17年度成果の一部を収録 平成18年3月23日発行

謝 辞

- ・ 研究者の方々による調査の積極的推進
- ・ 企業の方々のインタビューへ御協力
- ・ 日本経済団体連合会の御協力

※今後とも本活動に関する御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

○次のサイトにて、標準化経済性研究会の簡単な概要、経緯、メンバー及び今までの成果の一部がご覧になれます。

⇒ <http://srdi-st.jp/hyojun/>